

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	観光促進事業 (観光協会活動助成・公衆無線LAN運用)				財務会計上の事業名	観光促進事業/公衆無線LAN整備推進事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	1	10	1	1	担当部署名	空港・観光課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第10節観光の振興				
	項目	項目1魅力ある観光ルートの創設				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	G20や大規模スポーツイベント、大阪・関西万博などが開かれることを見越し体験コンテンツの造成や、多言語化などに注力していく。
めざす姿(目標)	Wi-Fi環境整備により観光客の満足度向上を図るとともに、観光促進事業の推進などにより、主要観光施設の観光客数を引き上げる。
事業の対象 (誰を、何を)	市民及び市外観光客
事業の手段・方法 (どのように)	観光回遊ツアーの実施、ホームページの管理・運営、市内外でのイベントの実施など
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	19,179	4,322	4,067		観光客数	1,674,611人/年	1,745,403人/年	1,790,000人/年
主な内訳	補助金	15,134	3,900	3,600				
	委託料	3,402						
	使用料及び賃借料	643	422	467				
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	コロナウイルスの影響で外国からの観光客が途絶えたうえ、外出の自粛で国内観光客も大幅に減少し、過去年度の数値とは単純比較できないため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C	19,179	4,322	4,067	・上記「有効性・効率性」選択の理由	近年高まっている体験コンテンツのニーズに対して、PRが不足している。また大阪万博を中心に国際的なビッグイベントも控えている中で、多言語化なども引き続き整備していく。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>2月よりコロナウイルスが猛威を振るう中で、当市の観光施設も2月下旬より順次休館。再開までに3か月ほどの時間を要した。観光事業は「3密」の状況が発生しやすい事業が多く今後は事業の抜本的な見直しが必要と迫られる。またターゲットに関してもまずは近畿地方を中心とした近隣の需要が高まってくると予想される。</p> <p>Wi-Fiに関して、今年度より携帯電話事業者各社が5Gに対応し始めてきた。今後の普及状況を注視しつつ、利便性・コストを比較検討していく。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>コロナウイルス収束の見通しがなかなか立たない中で、「3密」を避けるような事業計画が必要になってくる。また今後の地域内・近県への旅行需要の高まりを見据え、地域の魅力を再発見させるようなPR手法も検討していかなければならない。また政府の旅行補助の動きもあるので、状況を注視しつつ、域内消費額の増加に向けた取組を行っていく。</p> <p>またWi-Fiに関しては上述の通り、5Gの普及状況を確認しながら優位性などを検討していく。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 コロナウイルスの余波を受け、観光事業の見直しが必要とされている。引き続き体験コンテンツのPRを行い消費額の向上を企図するとともに、今まで着目されてこなかった地域に根差した魅力もPRしていく。 Wi-Fiについては、引き続きアクセス数の増減を確認していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	池田駅周辺エリア回遊推進事業				財務会計上の事業名	池田駅周辺エリア回遊推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	10	1	2	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第10節観光の振興				
	項目	項目1魅力ある観光ルートの創設				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	まちづくり・観光マネジメント組織及びゲストインフォメーションセンターを運営する。
めざす姿(目標)	ゲストインフォメーションセンターの運営を通じて、来場者にコンパクトシティ池田の魅力を発信し、池田駅周辺エリアの回遊性を高める。
事業の対象(誰を、何を)	本市への来訪者
事業の手段・方法(どのように)	ゲストインフォメーションセンターを運営し、回遊を促進
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	52,174	22,093	22,112	来場者数	60,000人/年	60,000人/年	44432人/年	62,000人/年	
主な内訳	委託料	50,100	20,000						19,670
	使用料及び賃料	2,074	2,093						2,112
	光熱水費	0	0						330
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金	26,087			・上記「達成状況」選択の理由	まちづくり会社に委託を行い、サービスの向上と事務の簡略化を実現。全体利用者数は令和2年1月から新型コロナウイルス感染症の影響で減少しているが、それまでの数字は増加しているため。			
	地方債								
	その他(地方創生推進交付金)	6,750			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	一般財源 C	19,337	22,093	22,112	・上記「有効性・効率性」選択の理由	大阪池田ゲストインフォメーションの利用者に対し、本市のPRを実施できているが、その後回遊を高めたどうかは判断できないため。			
一般財源比率 C÷A	37.1%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成28年度から、国の地方創生推進交付金を活用し、市内一体的な情報発信・コンテンツ開発を行い回遊性を向上させ、消費を促す取組を行っている。平成30年度で交付金が終了したほか、令和元年度受託事業者であるまちづくり会社いけだサンシー株式会社が解散したことに伴い、今後の運営にかかる費用や事業について検討が必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>ゲストインフォメーションの効率的な運営や効果的な回遊推進事業を進めていく必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も効果的な運営を念頭に置き、ゲストインフォメーションを起点として回遊推進事業に積極的に取り組んでいく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	観光イベント事業				財務会計上の事業名	池田市民カーニバル開催事業等
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	10	2	1	担当部署名	空港・観光課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第10節観光の振興				
	項目	項目2伝統行事やイベントの充実・支援				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	猪名川花火大会・池田市民カーニバル・がらがら火まつり・花菖蒲まつり・地域行事などの活動について、市民参加型イベントの協力、支援を行う。
めざす姿(目標)	安全・安心を第一にしつつ、各種イベントの来場者数が増えるようイベントの宣伝、PRを行う。
事業の対象(誰を、何を)	市民並びに市外観光客
事業の手段・方法(どのように)	各種イベントを通して参加
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(予算)	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	事業費(千円) A	22,542	10,307					
主な内訳	補助金	800,000	800,000	800,000	事故件数	0件/年	0件/年	0件/年
	負担金	20,689,548	7,709,431	5,150,000				
	委託料	912,000	1,012,000	850,000				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	イベント中止により総来場者数は減少するが、目標にあるように安心・安全を第一として開催をする場合、大きな事故などなく実施できているため。		
	地方債					☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		
	その他()				☆事業は効率的に実施できているか			
	うち受益者負担 B				B.改善の余地がある			
一般財源 C	22,542	10,307	8,335	・上記「有効性・効率性」選択の理由	毎年、同じイベントを実施している中でも、参加する人や関わる団体などが変われば、新たな問題が発生するため常に改善の余地があると認識している。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>①今後のイベント実施には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止(いわゆる3密回避)は避けて通れない問題となっている。 ②各事業の財源に不可欠な協賛金について毎年落ち込んでいる。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>①にぎわい創出という観点で見れば、集客イベントと3密回避については相反するところではあるため、イベント事業自体の在り方も今後検討していく必要がある。 ②協賛金の減少により自足できない事業が増えることから、補助金や負担金増も予想されるため、財政的な事情でも見直しが必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>縮小</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 人・団体・経済効果などの関わりを検証した上で、事業の必要性を精査し、イベントの廃止も視野に入れながら限りある予算の中で選択と集中を実施していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	広域観光推進事業				財務会計上の事業名	広域観光推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	10	3	1	担当部署名	空港・観光課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第10節観光の振興				
	項目	項目3広域観光事業の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	豊能地区広域観光推進協議会や各種団体と連携しながら、イベントや事業を実施する。
めざす姿(目標)	近隣市の把握している現状・課題・良策を活用しながら、広域観光を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民並びに市外観光客
事業の手段・方法(どのように)	池田市・豊中市・箕面市・豊能町・能勢町の3市2町で構成している豊能地区広域観光推進協議会において、事業を協議し実施する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	110	10	290		イベント実施数	0回/年	0回/年	1回/年
主な内訳	豊能地区広域観光推進協議会負担金	110	10	110	ツアー実施数	2回/年	2回/年	2回/年
	阪急沿線観光あるき実行委員会負担金			180				
☆成果の達成状況					B.順調に推移していない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	令和元年度は協議会の在り方について構成市町村で見解の相違があり事業が実施できなかったため。		
	地方債					B.改善の余地がある		
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
	一般財源 C	110	10	290	・上記「有効性・効率性」選択の理由	構成市町村の間で見解の相違があり、事業が実施できなかったため。		
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和元年度は構成市町村の間で見解の相違があり事業が実施できなかった。昨年末に箕面市が脱退し、令和2年度より2市2町で運営していくことができた。ただしコロナウイルスの問題が発生し、イベントの実施やガイドツアーの実施などを集めて事業を行うのが難しい状況にある。今後はコロナウイルス対策も踏まえて事業を実施していく必要がある。また今年度より実施する阪急沿線観光あるき実行委員会については「aruku&」(あるくと)アプリを活用しながら、効果を見極めていく。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>令和2年度より箕面市が脱退したことを受けて、新たに事業を計画していく必要がある。またコロナウイルスの感染拡大防止を鑑みた取組も検討していかなければならない。阪急沿線観光あるき実行委員会が実施している「aruku&」アプリのコース掲載については効果を注視していく。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 新たに2市2町でスタートを切ったので、新たな事業を展開していきたいと考えているため。また観光あるきについても阪急電鉄の広告ネットワークを活かした広域的なPRができてきているので引き続き取り組んでいきたいと考える。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	観光案内所管理運営事業				財務会計上の事業名	観光案内所管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	10	4	1	担当部署名	空港・観光課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第10節観光の振興				
	項目	項目4観光PRの強化				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	観光案内所の適切な管理運営を行うとともに、チキチキ探検隊の拠点施設として、インスタントラーメン発祥の地としてのPRを行う。
めざす姿(目標)	客層に応じたプランの提案や物販で得た資金をもととした事業提案を行えるようにする。
事業の対象(誰を、何を)	観光案内所
事業の手段・方法(どのように)	観光案内所や物産の販売などを行う観光案内所を運営する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	5,083	5,048	4,564	主 な 内 訳	来場者数	46,000人/年	45,333人/年	53,000人/年
警備委託	62	48	64		WEBサイトアクセス数	371,322回/年	387,585回/年	413,000回/年
管理運営委託費	5,000	5,000	4,500		売上高	2,000,000円/年	10,324,951円/年	3,150,000円/年
機器借上料	21							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財 源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	2月以降コロナウイルスの影響で客足が遠のいているが、目標以上の売り上げを上げることができたため。			
	地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか			
	その他(観光案内所使用料)	477	536		A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか			
一般財源 C	4,606	4,512	4,564	・上記「有効性・効率性」選択の理由	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源比率 C÷A	90.6%	89.4%	100.0%		目標売上の金額を大幅に超えて達成したため。			
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和2年4月にこれまで委託先であったいけだサンシー株式会社が解散した。それに伴い現在は委託先を決定するためにプロポーザルを行っているところ。観光案内所はカップヌードルミュージアムに訪れる観光客の動線上にかなりの需要が見込まれる。民間ならではの自由な発想を以てさらに池田市の満足度向上、消費額の向上、回遊性の向上を期待しているところ。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>現在新しい委託先を決めるプロポーザルを行っており、事業者が決まるまでは課題などにも言及できない状況。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 現在新しい委託先を決めるプロポーザルを行っており、事業者が決まるまでは課題などにも言及できない状況。</p>